

水溶性防錆剤：錆転換型 コンクリート露筋欠損部鉄筋部の防錆剤

# SK錆止め剤

SK錆止め剤は、コンクリート構造物の露筋個所の鉄筋部へ塗布浸透する事により、安定的な防錆皮膜を形成する錆転換型の浸透性錆止め剤です。



1. 欠損状況



2. 欠損の撤去



3. 脆弱部の撤去



4. 鉄筋錆の撤去



5. SK錆止め材の塗布



6. プライマー塗布、SKモルタル充填仕上げ

## SK錆止め剤の特長

- 安定した防錆被膜を形成する事で、錆の進行を止める事ができます。
- 錆を十分に除去できない場合でも、SK錆止め剤が浸透する事で赤錆から黒錆へ転換できます。
- 防錆皮膜を形成する事で外部からの酸素や水分等を遮断できます。

## SK錆止め剤の用途

- コンクリート構造物等の鉄筋部への浸透性防錆処理

## 性状

項目	性状内容
主成分	水溶性防錆剤
外観	乳白色液体
密度	1.1g/cm <sup>3</sup>
粘度 (23℃)	15 ± 5 mPa·s
指触乾燥時間 (23℃)	2 時間

※各数値は測定値であり、保証値ではありません。

## 試験データ

試験項目	試験結果	品質性能・規格値	
耐アルカリ性試験	塗膜に異常を認めない	塗膜に異常を認めないこと	
鉄筋に対する付着強さ試験	N/mm <sup>2</sup>	8.0	7.8 以上
	kgf/cm <sup>2</sup>	82	80 以上
防せい性試験	処理部	90%	防せい率 50%以上
	未処理部	- 1%	防せい率 - 10%以上

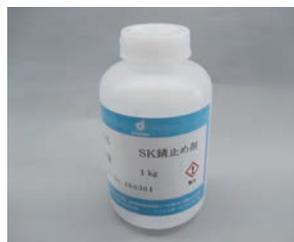
上記測定値は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針」鉄筋コンクリート用防せい材の品質規格（案）と東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要領「鉄筋防錆材の性能照査項目」の試験による。

## 包装容量

1kg丸ポリ容器入り

## 標準使用量

鉄筋部への塗布量：約 0.15 ~ 0.2kg/m<sup>2</sup>が目安



## 使用方法

1. 露筋個所の躯体脆弱部を除去する。
2. 露筋個所の鉄筋部の錆をワイヤブラシ等で出来る限り除去する。
3. SK錆止め剤を噴霧器や刷毛等で鉄筋部に塗布する。

## 注意事項

1. 眼に入った場合は、直ちに多量の清浄水で洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
2. 皮膚に付着した場合は、直ちに清浄水で洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見受けられる場合は、医師の診断を受けて下さい。
3. 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

ダイフレックス製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、ダイフレックス製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のカタログ又はリーフレットの最新版に留意して下さい。カタログ又はリーフレットの最新版をご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

## 株式会社 ダイフレックス

〒163-0825 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 25F 私書箱第 6086 号  
TEL. 03-6864-0751 FAX. 03-6864-0752